

地域企業紹介 38

医療法人社団秦和会 秦野病院



## 大正、昭和、平成を 前のめりに生きて

秦野市の水無川沿いにある秦野病院を運営する医療法人社団秦和会の高橋幸枝理事長にお会いしてきました。高橋さんは1916年(大正5年)新潟県上越市に生まれる。地元的高等女学校を卒業後、既に東京で暮らしていた五歳年上の姉を頼って上京し、海軍省でタイピストとして働き始め、1939年(昭和14年)に中国山東省青島の海軍省に転勤する。2年前の1937年(昭和12年)に起きた盧溝橋事件に端を発した日中戦争の真ただ中に中国に渡っている。そして、青島の教会で「北京の聖者」と言われた清水安三牧師に会い、同氏が設立した北京の貧しい少女達の教育と自立を目指す「崇貞学園」や生活環境が著しく劣悪な天橋地区の生活改善のための社会福祉施設「愛隣館」の話聞き、強い衝撃を受ける。異国の地にあって恵まれない人びとのために一身を捧げている日本人がいることに。

「自分が本当にやりたい仕事はこれではないか」との思いが募り高橋さんは清水氏に何度も手紙を書き送り働きさせて欲しいと願い出る。一度は断られるも「そこまで言うならいらっしゃい」と許しを得て、1942年(昭和17年)に青島の海軍省を退職し崇貞学園の一員となる。高橋さんは教員の資格が無かったので清水氏の秘書のような形で雑用全般を引受けることになる。ある時、清水氏から「高橋さん医者になりなさい。日本に帰って医学部で勉強し、戻って愛隣館の仕事をしなさい」と突然言われたそうだ。愛隣館内に診療所があったが愛隣館のあった地区はスラム街のようなところだったし、給与も安かったので医者がなかなか集まらなかったのだ。高橋さんは医師になればもっと人に喜ばれるし、もっと役に立つと決心し、日本へ帰国する。その時27才。

上越市の実家で三か月間猛勉強し、福島県立女子医学専門学校に合格する。無事卒業し、医師の資格を得ることになるわけだが、清水氏との約束だった北京の愛隣館で医師として働くという目的は日本の敗戦により果たせなくなっていた。既に清水氏も北京からリュック一つで日本に引き揚げてきていた。

(2面につづく)

医療法人社団秦和会

理事長 高橋 幸枝 (たかはし さちえ)

神奈川県秦野市三屋131番地 職員数:160名 出資金:1,600万円

事業内容: 秦野病院 (精神科・内科)、はたの林間クリニック、子どもメンタルクリニック、はたの渋沢クリニック、はたのホーム、グループホームわかば、就労移行支援事業所りんく、ディサービス「くつろぎ」の運営

高橋さんは故郷にある新潟県立高田中央病院でのインターンを経て同病院で新米医師として働くことになる。一方、清水氏は東京町田市の旧陸軍造兵廠の寄宿舎を借受けて桜美林学園を開校させていた。そんな清水氏から高橋さんに学園に診療所を作るので手伝ってほしいと再三連絡がきていた。それに応える形で1953年(昭和28年)3月に病院を辞め、桜美林学園診療所の校医となる。診療所といっても軍需工場の荒れ果てた寄宿舎を改造したもので高橋さんは廃材でつい立を作ったり、埃だらけの室内を夢中で掃除をしたりとまさに一からのスタートだった。皮膚病や回虫持ちの子たちの診療に忙しく、また、病院が近くに少なかったこともあり、近隣に住む人たちの診察や往診に追われる日々だったそうだ。

そんな中、清水氏から医学部を作るから手伝えとのお話があった。高橋さんもさすがにこれは無理なことと思ひ、学園を離れ臨床医で生きていこうと考え、1955年(昭和30年)に小田急中央林間駅の近くに中央林間診療所を開業する。翌年には妹の芳枝さんが夫が心筋梗塞で急死したため新潟から幼子二人と義母を連れて中央林間に引っ越してきた。それで診療所の諸事を手伝っ

てもらふことになる。それ以降、商売の才のあった芳枝さんと二人三脚で事業を拡大していく。

1966年(昭和41年)には中央林間診療所に加え秦野市内に精神科、内科の秦野病院を開業する。同年には精神科を学び直そうと慶応義塾大学医学部付属病院の精神科で勉強する。高橋さん53歳の時である。小さな診療所の切り盛りから68床のベッドを持つ病院の経営を経験することになるが、これを芳枝さんと力を合わせて軌道に乗せていく。その後も事業意欲は衰えず、病床の拡大、古くなった病院の建て替え、「はたの林間クリニック」、「子どもメンタルクリニック」、「はたの洪沢クリニック」の開設や地域移行型ホーム「はたのホーム」、グループホーム「わかば」と事業領域を広げ、2015年1月にはデイサービスや就労移行支援サービスなどを行うケアセンターを開所させている。後年は妹さん達のお子さんも医師や事務スタッフとして高橋さんを支えている。

高橋さんは今も毎日午前中は診療の現場に立つという。大正、昭和、平成を生き、懸命に働き続けてきた98歳の現役精神科医師に敬意を表したい。高橋先生、大好きな日本酒、いつまでも楽しんで下さいね。

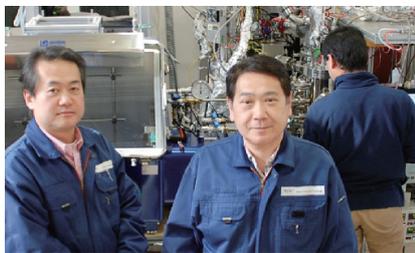
## 「成膜」と言う技術をあらゆる分野へ

### 株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ

新規成膜材料開発から受託成膜までの一貫したサービスを展開している株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズをご紹介します。

三尋木勝洋社長は大学を卒業後、化学材料のメーカーに就職、1996年にシリコンバレーへ赴任、初めてのアメリカで北米現地法人を設立・運営しました。日本ではありえないスピードでビジネスが進んでいく様は衝撃で、悪戦苦闘の話は尽きないと言います。2004年、退職し、翌年「研究開発に特化した企業」として同じ思いを持つ仲間と共に起業しました。

同社の事業を大きく3つに分け紹介すると、事業の6割を占めるのは成膜材料(Precursors)。豊富な成膜材料を取り揃え、お客様の装置・条件に最適な材料を提案している。薄膜堆積手法において注目を集めている原子層堆積法(Atomic Layer Deposition: ALD)や化学気相成長法(Chemical Vapor Deposition: CVD)に対応する様々な材料を提供し、あらゆる技術課題に対応しています。



左から 安原重雄取締役と三尋木代表取締役

2番目はステンレス容器の自社制作。容器を内製することにより、用途に適した容器の短納期での制作を可能にしています。

3番目は受託成膜。成膜装置(CVD/ALD)を社内に所有し、お客様の用途に合わせた成膜テストをすることが可能。この事前成膜試験により成膜に必要な圧力や流量、成膜温度等の概略を把握することができ、R&Dスケジュールの短期間化やコストカットを行うことができます。

例えば、自動車や電機などの大手メーカーにとって、保有する大掛かりな装置では仕様変更して行くことは、テストに時間とコストがかかり過ぎて難しい。各企業が激しくしのぎを削るなかでは、大企業の基礎研究の一部を請け負



精密蒸溜装置

容器

うことで、半年から1年基礎研究の時間を短縮することが出来るのです。

これまでもそうだったように、これからも日本のハイテク産業を下支えして行きたいと思うと同時に、自信を持って日本の素晴らしい技術を海外に出して行きたい。古い歴史を持つEUでも少なくなって来ている細かい仕事を、懇切丁寧に出来る中小企業こそが「日本らしい仕事」が出来ると確信しているからです。海外からの問い合わせにも丁寧に対応することで、思いがけずチャンスがやってくると、三尋木社長は話されました。

株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ  
SIC-3 3114号室  
E-mail info@japanadvancedchemicals.com  
http://japanadvancedchemicals.com/

# Hi friends! - Globalization in SIC -

ようこそ！世界の国からSICへ

(第2回)

グローバル化の波は世界中に及んでいます。日本企業にあっても海外進出はもちろんのこと社内公用語を英語にしたり、外国人を採用することも珍しくありません。SICに入居する企業にも外国の方々がたくさん働いています。このコーナーでは6回にわたり「Hi friends! Globalization in SIC」と題し、訪日されSICで活躍する方々を紹介します。

コートジボワール共和国  
from République de Côte d'Ivoire

## 平野 アリストファン

株式会社青電舎



### アリストさんの歴史を教えてください。

1980年コートジボワール共和国の旧首都アビジャン市の生まれ。INP-HB大学在学中(電気・電子専攻)に日本への留学制度で大学を中退して2001年4月来日し相模原市内に住んでいました。新宿の文化女子大学・日本語学校で日本語を勉強し、工学院大学専門学校で電気工事技術、長岡技術科学大学で電気電子情報工学を学びました。卒業後は、神奈川の通信機器企業を経て2009年9月青電舎に入社し、昨年には日本に帰化しました。

### 来日(留学)のきっかけは?

小学生の時に百科事典で日本の懸垂型モノレールの写真を見て、「電車が逆さになって走っている！」と衝撃を受けました。日本への興味を持った最初の出来事でした。高校の先生から、海外に留学するのであれば「日本へ行け」と助言を受け、さらに日本への関心が湧いてきました。母国とほぼ同じ面積で資源が無いのに世界第2位の経済大国であった日本については、「小学生が腕時計を組み上げられる」という凄い噂がありました。

大学3年のある朝、寮の部屋のドア下に「日本への国費外国人留学生募集資料」が入っていて、日本に関心を持つアリストが適任、と友人が気を利かしてくれました。来日後、学生時代に千葉を訪れた時に念願のモノレールを発見し、「私を呼んだのはこれだ！」と感激しました。

### 日本と母国の良いところや違いを教えてください

日本は、アルバイトであっても真面目に仕事に取り組みます。どんな仕事も丁寧にいきます。コートジボワールは、のんびりしていて、お客様へのサービスが良くありません。しかし、人が温かく、人の世話をしたいという国民性です。「寂しい」という言葉が見当たりません。

### 好きな食べ物と趣味は何ですか?

焼き魚、特に鮎の塩焼きが好きです。隔年で訪問する新潟の寺泊の塩焼きを楽しみにしています。外ではビール、家ではワイン。日本酒も新潟で鍛えられました。卓球、サッカー、自転車などのスポーツが好きですが、最近では時間が取りづらいため、小さい時から好きであった読書が専らの趣味です。英語・フランス語のミステリー文学、日本文学では夏目漱石や村上春樹。自分の世界に浸れるのがたまらないです。

### ご家族は?

4歳と2歳のかかなり甘いパパで、妻と4人家族。来日時からお世話になり、多分実の両親よりも私を理解している「日本のお母さん」が相模原市内に住んでいます。母国では、9人兄弟の次男で、叔母など含め16人の大家族で育ちました。

### 青電舎入社の際の経緯を教えてください。

通信機器メーカーを退職後に一時故郷に帰り、妻と出会うなど充電しました。その後、日本に戻り再就職活動は大変でしたが、ハローワークを通じて青電舎の求人案内に出会いました。面接では、権藤社長と意気投合し2時間も技術談義をしました。

### 青電舎ではどんな仕事をしていますか

ハプティック(触覚技術)駆動回路などの設計業務を担っています。概ね市販の電子機器に組み込まれるものなので、信号の受け渡しや駆動回路をどのように埋め込むかなど思案するのが難しくも面白い仕事です。青電舎での仕事は、一から全てを担当していく魅力があります。仕事の責任も重いのですが、自由度が高く、自分にとっては理想的な会社です。

### 将来の夢は?

自動車が大好きで、レンタカーに家族を乗せて全国各地を旅行しているので、会社を大きくして通勤はポルシェあるいはGTRか、家族を乗せられるアルファードにも乗りたい。

### 好きな言葉は?

「十人十色」。同じ意味のフランス語の諺に、Des goûts et des couleurs, il ne faut pas discuter。(趣味と色については議論してはならない)があります。

### 株式会社青電舎

代表取締役 権藤 雅彦 社員: 2名 創業: 2008年

業種: 精密機器の開発、製造および販売(現在、独自開発した触覚技術(haptic technology) デバイスの自動車や家電、産業機器への応用を目指した取り組みを進めている)

## カレーの店 マボロシ

カレーの店「マボロシ」にSICスタッフ3名で行ってきました。この日は「チキン」、「マトンキーマ」、「海老と夏野菜」をそれぞれ注文。インド料理店のカレーでもない、カレーチェーンのカレーでもない。スパイスが利いた複雑な味の美味しいカレーでした。(表現するのがなかなか難しい)ごはんはターメリックライスです。目印は白地に真っ赤な文字で「マボロシ」と書かれたのれん。カウンター3席、テーブル10席ぐらいの小さなお店です。カレー好きのお友達と一緒にどうぞ。

相模原市中央区中央3-7-1 電話 042-751-3320 営業時間 11:30~14:00/18:00~21:00 ※昼、夜ともに売り切れ次第、終了 定休日 日曜・祝日



チキンカレー





## さがみはらロボット 導入支援センター

Sagamihara ROBOT SUPPORT CENTER

『さがみはらロボット導入支援センター』が2015年9月1日(火) SIC-2にオープンしました。センターは、相模原市からの委託を受けて実施するもので、産業用ロボットの導入支援や技術者の育成を通じて、市内ものづくり企業の「生産性の向上」や「競争力の強化」、「労働力不足の解消」を図ることを目的としています。

見学やご相談は、事前にお電話又はメールでご連絡をお願いいたします。詳しくは、ホームページをご覧ください。

### 体験型システム展示 MODEL SYSTEM



#### 1 ビジントラッキングシステム

##### 三菱電機製ロボット RV-2F / RH-3F

2台のロボットを搭載し、多品種混流生産をイメージしたシステム。カメラにより複数種の部品を画像認識して取り置く。



#### 2 ワークハンドリングシステム

##### 不二越製ロボット MR20

工作機械への加工物の着脱をイメージしたシステム。7軸ロボットにより、種々の工作機械開口部形状に対応可能。



#### 3 アッセンブリーシステム

##### 川田工業製ロボット NEXTAGE

双腕型ロボットによる「ヒトとの共存」をイメージした組立システム。製造業の近未来を思い描く。

お問い合わせ先:さがみはらロボット導入支援センター  
担当:統括コーディネーター 宮川まで  
E-mail robot-center@sic-sagamihara.jp TEL:042-703-0181

### 2015.9 SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

- 9月 1日(火) さがみはらロボット導入支援センター オープン
- 9月 5日(土) SICカイズン・スクール開講
- 9月 8日(火) SICミニセミナー【労務編】マイナンバー制度が始まる前の「ころがまえ」
- 9月 8日(火) 経営者の為のコーチングワークショップ
- 9月18日(金) SIC経営者セミナー さがみはら発!日本のエネルギー社会をリードするベンチャー企業 ~俺流 夢の叶え方~
- 9月25日(金) SIC入居企業交流会
- 10月13日(火) SICミニセミナー 【We b】編



## 入居企業を募集してます。

### SIC空室情報 (2015年8月24日 現在)

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税別)
SIC-1 空室はありません。	-	-
SIC-2 オフィス(50.2㎡)	1	149,600円
SIC-3 空室はありません	-	-



## The HINT24 SICミニセミナー

マイナンバー制度が始まる前の「ころがまえ」 労務  
~事前準備や実務対応のご紹介~ (初級編)

2015年10月1日から、国民一人ひとりに「マイナンバー(個人番号)」が通知され、2016年1月1日から、いよいよ「マイナンバー」の利用が始まります!!これに伴い、今年の春頃から頻りに広報等で案内されているとおり、各企業にはマイナンバー制度実施に向けての対応が迫られています。

今回のセミナーでは、最初に制度概要について簡単にご説明し、それを踏まえた上で、実際にはいつまでに何をしなければならないのか、具体的にはどのような準備や対応が必要なのかをお話しながら、「マイナンバー」についての情報を提供いたします。



講師:みどり社会保険労務士事務所 代表 五十嵐 典子氏  
開催日時:平成27年9月8日(火)17:30-19:00

※終了後 希望者に個別相談会を実施(19:00~)

会場:SIC-2 大会議室(A) 参加費:無料  
お申し込み:SIC-1 担当 飯山・五島まで



【講師】



日本テクノ株式会社  
代表取締役社長

馬本 英一氏

「ベンチャー企業」  
「エネルギー社会」  
「夢の叶え方」

さがみはら発!  
日本のエネルギー社会を  
リードする  
ベンチャー企業  
俺流 夢の叶え方

相模原の20坪オフィスから新宿センタービル51階のワンフロアを借り切るまでに成長した日本テクノ株式会社。そこに登りつめるまでに経験してきた苦労話や成功秘話など、現在日本のエネルギー社会を引っ張る成長ベンチャーのトップが実践してきた夢の叶え方を赤裸々に語ります。

講師:日本テクノ株式会社 代表取締役社長 馬本 英一氏

開催日時:平成27年9月18日(金)18:00-20:00

会場:mewe橋本 8F 社のホールはしもと(多目的室)

定員:100名(申し込み順)

参加費:無料 お申し込み:SIC-1 担当 磯田・五島まで

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

今年の立秋は8月8日頃だったとか。台風と共にやって来た酷暑は台風と共に去りそうですが、皆様、食欲の秋に向かって体調は万全でしょうか。さて、SICでは、今月から「ロボット導入支援センター」がオープンし、企業の皆様へ更なるサービスを展開してまいります!



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を  
お待ちしております。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>